

NEDO Pitch

第25回 “ JEITA ベンチャー賞 特集 ”

主催：国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構

共催：オープンイノベーション・ベンチャー創造協議会

運営支援：日本総合研究所

開催日：2018年06月05日（火）

開催場所：NEDO Incubation Center (NIC)

ミュージア川崎 5F (NEDO 川崎本部)

プログラム：

18:00~18:05 開会

18:05~18:20 (最新の業界動向及びトピックの共有)

18:20~ 19:20 NEDO ピッチ 5 件

ピッチご登壇者概要	
株式会社アスター	株式会社 アスターは、独自の積層技術を用いた理想的なモータコイルの形状設計により、従来の 1.5 倍の高密度化を実現するとともに放熱性にもすぐれた「アスターコイル」を実用化して。これは、モータの高出力化・小型化につながり、車載用モータばかりでなく、航空宇宙、家電、発電など様々な分野への適用により省エネルギー効果や産業競争力の強化が期待される。
株式会社 ABEJA	株式会社 ABEJA は、小売業に向けた店舗解析ツールを提供している。AI (ディープラーニング) 技術を駆使したビッグデータ解析を実行することを特徴とする。カメラ画像から顧客数・顧客年齢・顧客の店舗内導線の歩き方などを分析、さらには天気・地理情報なども加味したうえで、店舗の業務改善の在り方を提案する。店員の感覚・ノウハウに頼ることなく、科学的なデータに裏打ちされた店舗設計が可能になる。IT 専門家のいない中小店舗でも、AI 利活用が推進するほか、海外への事業展開も期待される。
Hmcomm 株式会社	Hmcomm 株式会社は、産総研で開発された音声認識技術を実用化し、音声認識に特化した AI プラットフォームによるソリューション・サービスを提供している。窓口やコールセンター等での対人業務における会話のテキスト化、無人の音声受付等が実現可能である。また、騒音環境下での音声認識が優れており、車両や工場・プラントの機械装置の AI 異音検知による故障検知や予知への活用が可能である。今後、「音声ビッグデータ」のビジネスリソースとしての利活用への貢献が期待される。

株式会社 ZenmuTech	株式会社 ZenmuTech は、暗号化技術と、分散技術を組み合わせた「秘密分散処理」により、情報の漏洩防止を可能にするソリューションやデバイスを提供している。データ生成時にデータをブロックに分割して、各々を暗号化させることと、暗号化されたブロックを複数の異なるデバイスに分散配置することにより、情報の漏洩を事実上不可能にしている。この秘密分散処理に基づいたソリューションは、近年頻発するサイバー攻撃に対しての強い防御手段となる、サイバー攻撃に対しての強い防御手段となり、IoT デバイスの一層の利用普及が可能となる。
PGV 株式会社	PGV 株式会社は、大阪大学で発明された微小信号処理技術とフレキシブルエレクトロニクス技術をベースに、パッチ式脳波センサの製造・販売および脳情報ビッグデータを活用した脳波ビジネスを提供している。PGV(株)が手がける小型で無線計測可能なシート型脳波センサ（厚さ 6mm、重さ 24g）は、既存の大型特殊装置と同等レベルの計測精度を実現し、脳波計測を誰でも手軽に行える身近なものにして、医療・ヘルスケア・睡眠・注意力モニタリング・ニューロマーケティングなど、今後幅広い領域での発展が期待できる。

19:20~19:30 まとめ・閉会

19:30~ ランドテーブル（名刺交換）